

氏名	東口 晴菜	部署	看護学科	職名	助手
研究分野	成人看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2010年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科卒業、2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士前期課程修了				
経歴	2010年日本赤十字社医療センター看護師、16年株式会社MICメディカル臨床開発モニター、17年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助手				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本看護学教育学会、ニューロサイエンス看護学会、SPU学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	「中堅看護師の教育力」概念分析	共著	あり	日本看護科学学会誌、 40巻、p629-635	宮部明美、鈴木玲子、常盤文枝、 山口乃生子、大場良子、東口晴菜	2021年3月
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	「中堅看護師の教育力」概念分析	共同	第30回日本看護教育学会、 オンライン開催	○宮部明美、鈴木玲子、常盤文枝、山口 乃生子、大場良子、東口晴菜	2020年9月	
2	小グループ学習法におけるピア評価の実 施状況と課題に関する調査	共同	第30回日本看護教育学会、 オンライン開催	○常盤文枝、東口晴菜、宮部明美、大場 良子、山口乃生子、鈴木玲子、吉村基直	2020年9月	
3	視線分析を活用した看護場面における学 生の情報獲得と思考過程分析の試み	共同	第30回日本看護教育学会、 オンライン開催	○會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金 さやか、東口晴菜	2020年9月	
4	看護実践能力の育成を目指した授業展開 の評	共同	第30回日本看護教育学会、 オンライン開催	○金さやか、常盤文枝、山岸直子、會田 みゆき、東口晴菜	2020年9月	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	科研 基盤研究 (C)	中堅看護師の教育力深化を目指し たアクティブラーニング型研修の 開発と評価		研究分担者	2018～2021	
2	科研 基盤研究 (C)	視線分析を用いた多重課題におけ る臨床推論力を高める教育プログ ラムの開発		研究分担者	2020～2023	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学Ⅰ		8	遠隔授業がスムーズに行えるよう授業補助を実施した。また、「成人看護学理論(エンパワメント,自己効力感等)」の講義を担当し、学生の理解を深めるため双方向の授業を実施した。		
2	成人看護学Ⅱ		15	遠隔授業がスムーズに行えるよう授業補助を実施した。		
3	外科学		15	授業が円滑に進むよう必要物品の準備や授業補助を実施した。		
4	看護研究		15	遠隔授業がスムーズに行えるよう授業補助を実施した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	臨床実践看護		15	遠隔授業がスムーズに行えるよう授業補助を実施した。		
2	成人看護学Ⅲ		15	技術演習を担当し、企画・運営を行った。学生が自主的に参加できるよう支援した。また、遠隔授業がスムーズに行えるよう授業補助を行った。		

3	成人看護学Ⅳ		15	「脳外傷の看護」についての講義を担当した。学習内容をイメージ化できるように授業内に動画を取り入れ実施した。
4	成人看護学Ⅴ		30	遠隔ではあったが、技術演習担当として学生の理解度を汲みながら、演習の進度を調整するよう工夫した。また、看護過程における小グループ演習ではチューターとして参加し、学生自身が自ら学びグループディスカッションが活発となるようサポートを実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2020.5～2020.6	3年次生を対象とし、計8週間遠隔にて実習指導を行った。結果として、指導学生全員が療養支援の基礎的能力を養うという学習目標を達成できた。
2	総合実習		2020.7	4年次生を対象とし、プロジェクト型学習におけるファシリテートを実施した。取り上げた課題に対し、多角的な視点で調査・学習し、考察を深められるよう支援を実施した。
3	成人看護学実習Ⅲ		2020.9	遠隔実習ではあったが、災害時における基本的な知識・技術が行えるよう補助を実施した。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文			主指導 0名 副指導 4名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	学科等における委員会等		入試実施部会補佐	2020.4～2021.3
2	全学的委員会及びセンター業務等		共通試験（交代要員）	2021.1
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			